

工業「 建 築 計 画 」(選択科目)	単位数	2 単位
	学科・学年	建築科・第3 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 3 年次では、建築計画に関する各種建築物の基礎的な知識や建築法規との関連を理解し、建築物を安全・快適かつ合理的に設計する能力を身に付ける。
使用教科書・副教材等	建築計画（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学期	1 各種建築物の計画 (1) 集合住宅 ア 全体計画 イ 各部の計画 ウ 避難・消防計画	4	・集合住宅の目的や種類、使われ方のほか、敷地・配置・平面などの各計画に当たっての都市計画とのかかわりなどの留意事項を理解させる。	中間
		5		
		6	・住戸を構成する各室の形式・形態・適正な規模などを示し、階段の場所、2 方向避難、耐火構造などの集合住宅の計画方法について理解させる。	期末
		7		
2 学期	(2) 事務所の計画 ア 全体計画 イ 各部の計画 ウ 防災・避難計画	8	・事務所の目的や種類、使われ方、その計画上の特質について理解する。 ・事務所を構成する各室の形状や適正な規模など、各室の計画の方法を理解する。	中間 期末
		9		
		10		
		11		
		12		
3 学期	3 都市と地域の計画 (1) 都市計画の概要 (2) 都市計画の進め方 (3) 住宅地の計画 4 建築設備の計画 (1) 建築設備の概要 (2) 給排水・衛生設備 (3) 空気調和・換気設備 (4) 電気・防災・搬送設備	1	・都市のもつ機能や役割を示し、都市計画や地域計画の重要性・関連性を理解する。 ・都市計画の立案過程や開発手法の基本的な事項を理解する。 ・建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本的な事項を学習し、設備計画の重要性を理解する。 ・給排水、衛生設備や浄化槽のなどについて理解する。 ・危険物取扱者試験と関連して学ぶ。	学年末
		2		
		3		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・各分野における建築計画や都市計画の手法や基本事項に関心を持ち、意欲的に理解しようとする態度があるか。
思考・判断・表現	・住宅の平面プラン等について、理論的に広い視野で理解できているか。
技 能	・各種建築物の用途に応じた計画ができるか。また、用途ごとに必要な設備を的確に表現することができるか。
知 識 ・ 理 解	・各種建築物に応じた基礎的な計画の知識を身に付け、それを発展させて応用できるか。
・成績評価は、定期考査に加えて、上記4 項目の観点から平常の学習活動・学習態度、ノート・プリント・課題などの提出物、授業中の小テストや出席状態などで評価する。 ・学年末の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績をもとに総合的に評価する。	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

・建築計画は、建築設計の基礎知識となる大切な科目です。プランニングなどで各種建築物に興味を持ち、製図などの科目と関連させて、意欲的に学習することによって自分の設計意図がしっかりと反映されるようになります。
・家庭学習においては課題等により、常に問題意識や探求心を持つことが大切です。疑問点を自分から進んで調べたり、考察する意欲や態度が専門性を高めてくれます。